

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる

○：予定どおり

▲：遅れている

参考資料1-1

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）	令和2年度の実績	【進捗評価】			(1) 後期（H30～R2）総括 (2) 今後の方向性 など
		H30	R1	R2	
【最重要】 居住の場の確保支援 1 重症心身障がい者、医療的ケアが必要な方、強度行動障がい者等の居住の場を確保するための支援策を実施します。	(1) 重症心身障がい者グループホーム受入促進事業 ・ 支援員の確保及び医療的ケアのフォロー体制確保のために補助金を交付する。 <補助実績> ・ 2事業所3住居のグループホームに対して補助金を交付 (2) 強度行動障がい者支援検討会の開催 ・ 令和3年度から実施予定の支援策（法定研修及び支援チーム）を検討	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・ 補助事業を新設し、重症心身障がい者等のグループホーム利用のための支援員の確保ができた 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 重症心身障がい者グループホーム受入れ促進補助事業の継続 ・ 強度行動障がい者支援に関しては、法定研修の実施及び個別事案に対しても細やかに対応できる支援チームを結成し、施策を充実させていく方向である
【最重要】 共生型サービスの創出支援 2 共生型サービスに関する理解向上とサービス創出に向けた相談体制を構築します。また、共生型サービスを創出するための支援策を検討します。	<共生型サービス事業所の新規指定実績> ・ R2年度新たに2事業所を指定 【指定事業所一覧】 ・ まほろば ・ スマイリングスピナティ ・ くらがいけ ・ Carmia（カルミア） ・ あさがお ・ 笑いの家 ・ すばる	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・ 先進自治体への視察や民間事業者との勉強会を実施することで情報収集に努め、事業者を対象とした研修会で事業者指定に向けた支援等を行ったことで、3年間で7件の事業所が指定された 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 共生型サービス事業所の増加に向けて、介護保険サービス事業所に対し、啓発と指定に関する相談支援を行う
【最重要】 日中活動場所確保計画に沿った事業所整備支援 3 特別支援学校卒業後の地域での受皿を確保するため、豊田市障がい者の日中活動場所確保計画に沿った障がい福祉サービス事業所の整備を支援します。また、（仮）南部1次救急診療所に併設する日中活動場所及び県営手呂住宅跡地を活用した日中活動場所の整備について、共生型社会システムを視野に入れながら進めます。	(1) 豊田市障がい者日中活動場所確保計画 ・ 整備目標 令和2年度末 450人（必要定員数） ・ 整備実績 令和2年度末 557人（整備済定員数） (2) その他 ・ 県有地を活用した重症心身障がい対応の生活介護事業所「ライフケアセンターりすまいる」開設（定員30人） ・ こども発達センターおひさま施設内に障がい者が働く喫茶「CafeMikke」開設	◎	◎	◎	【後期（3年間）総括】 ・ 整備支援施策や事業者における自発的な整備により、整備目標を上回る事業所整備を行うことができたが、重度障がい者の受入れ可能な施設については未だ少ないことが課題である 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 重度障がい者の対応が可能な事業所の増加を目指し、事業所における専門人材の確保や育成にかかる取組を進める。また、医療機関との連携や人材育成も併せて進める

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる

○：予定どおり

▲：遅れている

参考資料1-1

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）	令和2年度の実績	【進捗評価】			(1) 後期（H30～R2）総括 (2) 今後の方向性 など
		H30	R1	R2	
【最重要】 介護者負担軽減策の実施 4 日常的にたん吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者を受け入れる場所を確保するため、病院の空きベッドを活用した医療型短期入所及びレスパイト事業を実施します。	<重症心身障がい児・者等の家族介護者負担軽減事業> ※難病患者は含まず ・利用登録者数 28名 (1) 医療型短期入所 ・受入病院：2病院 ・利用実績：9名（282日） (2) レスパイト事業※個室補助がないさくら病院含む ・受入病院：5病院 ・利用実績：20名（338日） (3) 医療型短期入所利用時における日中活動場所への送迎 ・利用人数：4名 ・利用回数：148回	○	○	○	【後期（3年間）総括】 平成30年度から家族介護者負担軽減事業、令和元年度から医療型短期入所利用時における日中活動場所への送迎事業が始まり、いずれも利用人数、利用数ともに増加し、一定の成果を得た 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・今後も、補助事業を継続的に実施する ・重症心身障がい者等の障がい特性や支援方法を伝える研修会を実施し、医療機関での医療型短期入所・レスパイト事業の受入れを促進する
【最重要】 避難所模擬体験の実施 5 障がい当事者参加のもと、HUG（Hinanzyo Unei Game)の活用を視野に入れた避難所運営の模擬体験を実施し、避難所を運営していく上での課題を把握します。	<避難所模擬体験の実施> ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から障がい当事者参加型の避難所模擬体験は未実施 ※自治区の防災訓練に自立支援協議会として参加し、車いす体験やコミュニケーション支援ボード活用訓練等を実施 ・日時：令和2年9月6日（日）午前8時45分～午前10時45分 ・場所：御船自治区 区民会館及びグラウンド ・参加者：参加者約100名	◎	◎	—	【後期（3年間）総括】 ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けたものの、平成30年度、令和元年度については、避難所模擬体験を実施し一定の成果を得た 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・今後は、障がい当事者を対象とした特別な訓練を実施することよりも、地域の防災訓練において、障がい者への配慮も考慮した訓練の実施を検討していく方向である
【重点】 心のバリアフリーの推進 6 障がいの有無にとらわれることなく、誰もが地域社会で共に暮らしていくことが日常となるよう、多様な主体と連携し、障がいへの理解を促進します。	(1) ビデオを使用した啓発講座実施 ・件数：4件 ・受講テーマ（身体：1 精神：1 知的：1 法律・制度：1) ・受講者数：65人 ・受講団体の内訳（事業者：2 民生委員：2） (2) サポートガイドの配布 配布数：172冊	◎	◎	◎	【後期（3年間）総括】 ・令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、実施件数及び受講者が、大幅に減少してしまった。平成30年度、令和元年度については、300人を超える受講者数であり、一定の成果を得た 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・引き続き、講座を実施するとともに、特に民間事業者への啓発活動を実施することで、市全体で障がい福祉についての関心度の増加と、合理的配慮の推進を目指す

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる

○：予定どおり

▲：遅れている

参考資料1-1

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）	令和2年度の実績	【進捗評価】			(1) 後期（H30～R2）総括 (2) 今後の方向性 など
		H30	R1	R2	
【重点】 相談支援体制の再整備 7 障がい者や家族が身近な地域で相談できるとともに、相談支援専門員が関係機関と連携することで質の高い相談支援を実施します。	(1) 受託条件の見直し ・障がい者相談支援事業の職員配置を見直し、手厚い相談体制を整えた (2) 主任相談支援専門員の配置 ・主任相談支援専門員が地域の相談支援専門員に対し、フォローアップ研修の実施や利用支援等の援助技術の向上を目的とした指導助言を行い、人材育成を行った	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・障がい者相談支援事業の職員配置を見直し、手厚い相談体制を整え、質の高い相談支援を提供できるようにした 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・豊田市地域自立支援協議会のブロック会議・サポート連絡会等を活用して、関係機関との連携を強化し、複雑化・複合化した相談に対応できるようにする
【重点】 発達障がい者への支援 8 発達障がい者からの相談に対応できる窓口の設置や、対人コミュニケーションなどの困りごとを解決するための支援者を養成するほか、発達障がいへの理解を促進します。	(1) 発達障がい子育ておはなし会 ・家族の悩み事に応じたテーマに分けて6回開催 ・参加者数：34人 ・参加者アンケート結果：大変満足38%、満足59% (2) 発達障がい支援者研修 ・行政職員や保育士等に対し、発達障がいに関する研修会を実施 ・事業所職員と顔の見える関係づくりの機会をつくり、日々の支援の中で連携できる体制を構築	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・発達障がい子育ておはなし会は令和2年から実施回数を増やし、実施した。また、参加者からのアンケート結果では、大変満足、満足と感じている参加者が多い結果となった ・支援者研修についても、研修後のアンケート結果は満足度の高い結果となった 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・引き続き現事業を継続しつつ、関係機関との連携を強化し、事業のあり方を検討することで、より多くの発達障がい者及び家族などの支援を目指す
【重点】 地域生活支援拠点整備に向けた検討 9 豊田市に適した地域生活支援拠点の在り方について検討し、備えるべき機能や障がい者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような支援を切れ目なく提供できる仕組みを構築します。	<地域生活支援拠点等の整備完了> ・相談機能及び緊急時の受入れ先について決定 ・夜間・休日を含めた常時の連絡体制が必要な対象者を把握	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・豊田市地域自立支援協議会にて、地域生活支援拠点の整備に向けた検討を行い、令和2年度に相談機能及び受入れ先を決定し、豊田市における地域生活支援拠点の整備を行った 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・豊田市地域自立支援協議会を中心に、各機能の効果検証を行い、地域生活支援拠点の各機能の充実を図っていく

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる

○：予定どおり

▲：遅れている

参考資料1-1

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）	令和2年度の実績	【進捗評価】			(1) 後期（H30～R2）総括 (2) 今後の方向性 など
		H30	R1	R2	
【重点】 移動サービス体制の検討 10 公共交通機関の利用が困難な障がい者に対する移動支援の在り方について検討します。	<移送サービスの予約方法の改正（H30実施済み）> ・移送サービスの予約方法を見直し、より多くの利用者が利用できるように制度改正を行った ・令和2年度延べ利用者数：1,423人 ・令和2年度送迎実施回数：1,008回	達成	—	—	【後期（3年間）総括】 ・移送サービスの予約方法を見直し、より多くの利用者が利用できるよう制度改正を行った 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・既存の移動に関わるサービスを継続的に実施し、必要に応じて効果検証を行っていく
【重点】 精神障がい者の日中活動場所整備の検討 11 精神障がい者の社会的自立に向け、地域社会と交流が持てる場所や相談場所の整備について検討します。	(1) 精神障がい者家族相談支援事業委託 ・相談窓口 49日開設、延べ86人利用 ・居場所づくり 43日開設、延べ403人利用 (2) 地域活動支援センター ・オープンスペース 2施設 延べ948人利用 (3) 精神障がい者地域支援協議会の設置 ・協議会 1回、部会 4回	○	達成	○	【後期（3年間）総括】 ・精神障がい者の社会的自立に向け、地域社会と交流を図る地域活動支援センターの継続的な実施や精神障がい者家族会運営による精神障がい者家族相談支援事業を立ち上げ、家族相談の実施や居場所の確保を行った。精神障がい者の日中活動場所の整備も含めた地域包括ケアシステムを総合的かつ効果的に推進するため、精神障がい者地域支援協議会を設置した 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・精神障がい者やその家族を支援する関係機関との協議の場を通じて、精神障がい者の日中活動場所の整備も含めた必要な取組を検討し、本市における精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築を目指す
【重点】 福祉事業所版BCP計画策定の支援 12 災害発生後に、本来の業務である障がい者への福祉サービス支援の提供を早期に復旧させるための計画作りを支援します。	<事業者向けBCP講座開催> ・対象者：市内の居住系サービス及び日中系サービスの事業所職員 ・参加者：56法人（69事業所） ・内容：研修動画視聴 (1) 大規模災害時における福祉サービス事業所事業継続計画(BCP)について (2) 福祉事業所BCP 豊田市障がい福祉課版	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・事業所のBCP策定に向けて、講座を実施した 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・BCP策定率上昇に向けて更なる支援策を構築する ・豊田市の要配慮者への防災対策を総合的に進めていく

障がい者ライフサポートプラン2015重点事業（14事業）の後期総括について

◎：進んでいる

○：予定どおり

▲：遅れている

参考資料1-1

重点事業（上段：事業名／下段：事業内容）		令和2年度の実績	【進捗評価】			(1) 後期（H30～R2）総括 (2) 今後の方向性 など
			H30	R1	R2	
13	【重点】 成年後見制度の利用促進 判断能力の不十分な障がい者や高齢者の権利を擁護するため、成年後見制度の利用促進と適切な支援体制を構築します。	・ 豊田市成年後見支援センターの運営を社会福祉協議会に委託し、相談援助等必要な支援を実施 相談支援件数 知的障がい 31件 精神障がい 25件 ・ 成年後見制度の理解啓発のための出前講座を実施 令和元年度実績：13回 ・ 市民後見人養成講座を実施 修了者 19人	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・ 市（福祉総合相談課）と成年後見支援センターが中核機関の機能を果たし、成年後見制度に関する「広報啓発」「相談」「利用支援」「後見人支援」に取り組む体制が確保された 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 引き続き中核機関としての機能を果たしながら、相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所等の支援者、弁護士や司法書士、社会福祉士といった専門職等と連携しながら、成年後見制度利用促進計画に基づき制度の利用促進を図っていく
	【重点】 障がい者優先調達推進法に基づく物品等の購入 共同受注窓口を運営する組織の立ち上げを視野に入れ、市役所を始めとする公共施設において、福祉施設で作られた物品の購入や清掃などの業務委託を計画的に増やします。	<調達実績> ・ 令和2年度調達実績 83件 ・ 令和2年度調達金額 93,496,277円 <新規調達案件等> ・ 豊田市の産業の中心であったガラ紡を使用したマスクの製造 ・ 置き菓子BOX「オフィスきらり」がグッドデザイン賞2020を受賞	○	○	○	【後期（3年間）総括】 ・ 市職員の木製名札ケースの導入、ふるさと納税返礼品に地域材を活用した商品導入など庁内の調達において積極的に福祉施設等からの調達を行うとともに、共同受注窓口についても販売先の新規開拓を行うことで毎年販売実績を伸ばした 【今後の方向性】（第5次障がい者LSP踏まえ） ・ 障がい者福祉サービス事業所等において製造された菓子や雑貨等を市民に紹介・販売するとともに、新しい販路の開拓や業務の受注を行い、工賃向上を目指す